

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「悪い」超幅が拡大した。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	食料品、窯業・土石製品、木材・木製品	個人消費の持ち直し 民間工事受注の獲得
	悪化	金属製品、繊維、紙・パルプ、鉄鋼、はん用・生産用・業務用機械	公共工事受注の減少 暖冬による季節商品販売下振れ 新興国経済の減速
非製造業	改善	宿泊・飲食サービス、小売、卸売、物品賃貸、情報通信	個人消費の持ち直し インバウンド観光客などの取り込み 燃料価格の低下 首都圏での民間工事受注の獲得
	悪化	対個人サービス、建設、不動産、電気・ガス、対事業所サービス、鉱業・採石業・砂利採取業	公共工事受注の減少 暖冬による除雪やサービス需要の下振れ

- **先行き**については、「悪い」超幅が拡大する見通しである。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大する見通し。

(事業計画)

- 2015年度の**売上高**は、前年を上回る見込み、**経常利益**は、前年を下回る見込みである。前回調査対比では、売上高、経常利益ともに下方修正となった。
—— 経常利益は、製造業で、新興国経済の減速、公共工事関連需要の減少、暖冬による季節商品販売の減少などから、減益の見込みである。非製造業では、県外の建設工事の採算改善、個人消費の持ち直し、燃料コストの低下などから、増益の見込みである。
—— 経常利益を前回調査対比でみると、製造業では暖冬の影響による季節商品販売の下振れなどから、下方修正となった。非製造業では、原油安によるコスト低下や、県外の建設工事の採算改善などから、上方修正となった。

- 2016年度の売上高は、前年並みの計画、経常利益は、前年を下回る計画である。
 - 経常利益は、製造業で、想定為替レートの修正や新興国向け輸出の減少などを見込んでおり、減益計画となっている。非製造業は、原材料安の反転を見込んでおり、減益計画となっている。
- 2015年度の設備投資は、前年を下回る見込みである。前回調査対比では、下方修正となった。
 - 製造業は、前年の大型投資の反動などから、前年を下回る見込みである。非製造業では、用地確保の困難化に伴う出店先送りなどにより、前年を下回る見込みである。
 - 前回調査対比では、製造業で、翌年度への持ち越しのほか、受注減に伴う投資先送りなどから、下方修正となった。非製造業では、用地確保の困難化に伴う出店先送りなどから、下方修正となった。
- 2016年度の設備投資は、前年を上回る計画である。
 - 製造業は、持ち越し案件の実施や生産能力増強投資が計画されており、前年を上回る計画となっている。非製造業は、前年の大型投資の反動から、前年を下回る計画である。

(その他の判断項目)

- 販売価格判断D. I.は、「下落」超幅が拡大した。仕入価格判断D. I.は、「上昇」超幅が縮小した。
- 雇用人員判断D. I.は、「不足」超幅が縮小した。
- 資金繰り判断D. I.は、「楽である」超幅が拡大した。貸出態度判断D. I.は、「緩い」超幅が拡大した。借入金利水準判断D. I.は、「低下」超幅が拡大した。

以 上